

# 事業者向けエコ通勤の実施状況（全体）について

## 【実施結果の総括】

- 平成27年5～9月までの5ヶ月間、各参加事業所に任意の「エコ通勤デー」を設定いただき、当該日にエコ通勤を実践いただきました。
- 取組への参加者は自動車通勤者に限らず、公共交通機関・バイク等の利用者の他、自転車・徒歩通勤者も対象としています。自動車・公共交通機関等の利用者はより環境負荷の低い通勤方法への切り替えを、自転車・徒歩通勤者はCO<sub>2</sub>排出量が「0」である現在の通勤方法を維持していただくことを「エコ通勤」としました。
- エコ通勤への参加者は市内42事業所で合計682名であり、今年度の取組実施により、次のとおりの結果を得ました。

ガソリン削減量 合計1,581.3リットル  
CO<sub>2</sub>排出量 合計3,667.6kg-CO<sub>2</sub>

- 今回の取組によるCO<sub>2</sub>削減量を「見える化」すると…

- ※ 道内の一般的な樹種であるトドマツ（80年生）が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>量でいうと  
～ 約288本分に相当
- ※ トドマツ林の面積でいうと  
～ 約7,024㎡のトドマツ林に相当
- ※ 1世帯あたりの電力使用量でいうと  
～ 約589日分の電力使用量に相当

## 【全体のエコ通勤取組結果】

### ○ 実績ベース

参加人数	エコ通勤延べ日数	ガソリン削減量	CO <sub>2</sub> 削減量
682 人	12,249 日	1,581.3 ℓ	3,667.6 kg-CO <sub>2</sub>

- ※ 「エコ通勤延べ日数」は、各参加事業所における参加者の取組日数の合計値です。
- ※ 「ガソリン削減量」、「CO<sub>2</sub>削減量」は、従前の通勤方法と取組による実際の通勤方法の差を効果分として推計しています。
- ※ CO<sub>2</sub>削減量 = ガソリン削減量 × 2.32kg-CO<sub>2</sub>/ℓ (2.32kg-CO<sub>2</sub>/ℓはガソリンのCO<sub>2</sub>排出係数)



### ○ エコ通勤取組期間、参加者全員が毎日エコ通勤を実践した場合

参加人数	エコ通勤延べ日数 (推計値)	ガソリン削減量 (推計値)	CO <sub>2</sub> 削減量 (推計値)
682 人	68,200 日	8,804.4 ℓ	20,420.5 kg-CO <sub>2</sub>

- ※ 1ヶ月当たりの勤務日を20日、取組期間5ヶ月として試算しております。

### 【各事業所の取組結果一覧】

○ 実績ベース（掲載の順番は、登録日順としております。）

事業所名	エコ通勤デー 設定状況	参加 人数	エコ通勤 延べ日数	ガソリン 削減量	CO <sub>2</sub> 削減量
国土交通省 北海道運輸局 旭川運輸支局	毎週水曜日	17 名	310 日	15.8 ℓ	36.6 kg-CO <sub>2</sub>
自動車検査独立行政法人 旭川事務所	毎週水曜日	4 名	78 日	13.0 ℓ	30.2 kg-CO <sub>2</sub>
(株)北海道銀行 神楽支店	毎月18日	13 名	48 日	3.4 ℓ	7.8 kg-CO <sub>2</sub>
(株)北海道銀行 旭川支店	毎月18日	85 名	401 日	25.0 ℓ	57.0 kg-CO <sub>2</sub>
コープさっぽろ旭川地区本部	毎月1回 月曜日	7 名	28 日	15.7 ℓ	36.4 kg-CO <sub>2</sub>
東芝ホクト電子(株)	各個人 月2回 以上	27 名	270 日	173.5 ℓ	402.6 kg-CO <sub>2</sub>
(株)北海道銀行 豊岡支店	毎月月末	35 名	164 日	11.5 ℓ	26.7 kg-CO <sub>2</sub>
旭川地方法務局	毎週金曜日	22 名	420 日	**** ℓ	**** kg-CO <sub>2</sub>
(株)北海道銀行 永山支店	毎月第3水曜日	15 名	67 日	17.1 ℓ	39.6 kg-CO <sub>2</sub>
北海道開発局 旭川開発建設部	毎月2回	42 名	328 日	48.7 ℓ	112.8 kg-CO <sub>2</sub>
北海道電力(株) 旭川支店	営業日で各人が エコ通勤可能な 日	98 名	7,572 日	269.9 ℓ	626.4 kg-CO <sub>2</sub>
北海道電力(株) 旭川統括電力セン ター	毎月各人がエコ 通勤可能な日2 回	56 名	988 日	123.9 ℓ	287.4 kg-CO <sub>2</sub>
北海道銀行 大町支店	毎月18日	13 名	48 日	8.6 ℓ	20.0 kg-CO <sub>2</sub>
旭川道路事業所	毎月25日	7 名	24 日	12.8 ℓ	29.6 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 本店1条出張所	毎月1回	1 名	5 日	9.3 ℓ	21.6 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 永山南支店	毎月1回	6 名	24 日	28.3 ℓ	65.7 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 末広北支店	毎月1回	1 名	5 日	5.3 ℓ	12.3 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 東光東支店	毎月1回	7 名	14 日	23.3 ℓ	54.1 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 東光支店南六条出 張所	毎月1回	2 名	10 日	11.9 ℓ	27.6 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 忠和支店	毎月1回	6 名	19 日	19.3 ℓ	44.8 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 緑が丘支店	毎月1回	23 名	47 日	34.9 ℓ	81.0 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 神楽支店南出張所	毎月1回	1 名	5 日	7.3 ℓ	16.9 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 流通団地支店	毎月1回	2 名	10 日	7.4 ℓ	17.2 kg-CO <sub>2</sub>

事業所名	エコ通勤デー 設定状況	参加 人数	エコ通勤 延べ日数	ガソリン 削減量	CO <sub>2</sub> 削減量
旭川信用金庫 あたご支店	毎月1回	22名	50日	31.2 ℓ	72.4 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 東光支店	毎月1回	9名	38日	38.9 ℓ	90.3 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 神居支店	毎月1回	2名	7日	7.7 ℓ	17.9 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 駅前支店	毎月1回	2名	10日	6.9 ℓ	16.0 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 近文支店	毎月1回	4名	16日	8.1 ℓ	18.8 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 永山支店	毎月1回	12名	52日	55.7 ℓ	129.2 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 豊岡支店	毎月1回	15名	55日	35.4 ℓ	82.1 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 東旭川支店	毎月1回	8名	36日	31.3 ℓ	72.6 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 西支店	毎月1回	6名	26日	17.9 ℓ	41.6 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 新旭川支店	毎月1回	6名	18日	13.2 ℓ	30.6 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 未広支店	毎月1回	9名	43日	63.2 ℓ	146.6 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 東支店	毎月1回	3名	6日	6.4 ℓ	14.9 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 神楽支店	毎月1回	4名	18日	26.3 ℓ	61.0 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 北星支店	毎月1回	8名	36日	16.8 ℓ	39.0 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 銀座支店	毎月1回	10名	48日	27.9 ℓ	64.7 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 本店	毎月1回	5名	16日	15.5 ℓ	35.9 kg-CO <sub>2</sub>
旭川信用金庫 本部	毎月1回	27名	100日	88.2 ℓ	204.6 kg-CO <sub>2</sub>
旭川ケーブルテレビ株式会社	毎月2回以上	14名	412日	38.8 ℓ	89.9 kg-CO <sub>2</sub>
北海道 上川総合振興局	毎週水曜日	26名	377日	166.3 ℓ	385.9 kg-CO <sub>2</sub>
合 計		682名	12,249日	1,581.6 ℓ	3,668.3 kg-CO <sub>2</sub>

※「エコ通勤延べ日数」は、各参加事業所における参加者の取組日数の合計値です。

※「ガソリン削減量」、「CO<sub>2</sub>削減量」は、従前の通勤方法と取組による実際の通勤方法の差を効果分として推計しています。

※CO<sub>2</sub>削減量 = ガソリン削減量 × 2.32kg-CO<sub>2</sub>/ℓ (2.32kg-CO<sub>2</sub>/ℓはガソリンのCO<sub>2</sub>排出係数)

※日頃から、自転車または徒歩通勤の職員が、天候不良等でバスやJRを使用し、ガソリンを消費した場合、CO<sub>2</sub>削減量はマイナスで評価されます。

※従来からエコ通勤に取組み、削減の余地がない事業者は削減量を「\*\*\*\*」で表示しています。